

令和7年1月吉日

関係各位

(一社) 国際空手道連盟 極真会館 富山県 極真会館 小井道場
大会実行委員長 小井 義和

<第31回全日本少年少女空手道選手権大会・グランドチャンピオン決定戦 選考試合>

第16回オープントーナメント北信越学生空手道選手権大会(組手)

第20回オープントーナメント富山県空手道選手権大会(組手・型)

第1回 オープントーナメント富山県ハートポイント空手道選手権大会

大会要項

拝啓 時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

平素は当道場に対し格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、下記内容にて『第16回オープントーナメント北信越学生空手道選手権大会』及び『第20回オープントーナメント富山県空手道選手権大会』『第1回富山県ハートポイント空手道選手権大会』を開催する運びとなりました。

この大会は、直接打撃制組手試合の向上及び武道精神による人間形成を目的として開催いたします。

そして、北信越学生大会の組手試合は令和8年6月に大阪府立体育会館で開催の『第31回全日本少年少女空手道選手権大会(グランドチャンピオン決定戦)』の国内最初の選抜試合となっております。

また、富山県大会に全日本選抜試合の「型」カテゴリーが昨年より設けられ、新たに空手界初の電子防具を使用する『第1回 富山県ハートポイント空手道選手権大会』が開催されます。

記

<日 時> 令和7年4月6日(日)
開場・選手受付 9時15分～
開 会 式 9時45分～

<場 所> 富山市2000年体育館 ※例年と違う場所です
〒930-0955 富山県富山市天正寺1400番地 Tel (076) 420-2000

<試合カテゴリー>組手57カテゴリー 型33カテゴリー ハートポイント組手(別紙参照)

<試合方法> 一般社団法人 国際空手道連盟 極真会館ルールに準ずる

<出場料> 組手の部7,000円 / 型の部7,000円 / ハートポイント組手7,000円
組手+型 12,000円 / 組手+ハートポイント組手12,000円
型+ハートポイント組手12,000円 / 組手+型+ハートポイント組手15,000円
※ダブルエントリーは12,000円 トリプルエントリーは15,000円です。

<申込締切> 令和7年2月27日(木) 必着で有効

※出場料は出場申込書同封の上、所属道場・流派・会派など各団体一括で現金書留にて下記住所まで郵送をお願いいたします。

<送付先> 〒939-8075 富山県富山市今泉333
極真会館 小井道場

TEL (076)420-1031 / FAX (076)420-1032 / Email: pmg@r7.dion.ne.jp

※申込後の出場料は原則、いかなる理由があろうと返金は致しません

※出場申込書不足の場合はお手数ですがコピーにて対応下さい

＜実施 組手クラス＞

北信越学生大会カテゴリー No.1～32			30	高校女子重量の部	(53kg以上) 権利試合
1	幼年の部(男女混合)	(年長のみ可) 権利試合	31	高校2・3年男子軽量の部	(65kg未満) 権利試合
2	小学1年男子の部	権利試合	32	高校2・3年男子重量の部	(65kg以上) 権利試合
3	小学1年女子の部	権利試合			
4	小学2年男子の部	権利試合	富山県大会カテゴリー No.33～55		
5	小学2年女子の部	権利試合	33	(挑戦)幼年の部(男女混合)	(年小～年長) 非権利試合
6	小学3年男子軽量の部	(30kg未満) 権利試合	34	(挑戦)小学1年男子の部	非権利試合
7	小学3年男子重量の部	(30kg以上) 権利試合	35	(挑戦)小学1年女子の部	非権利試合
8	小学3年女子の部	権利試合	36	(挑戦)小学2年男子の部	非権利試合
9	小学4年男子軽量の部	(32kg未満) 権利試合	37	(挑戦)小学2年女子の部	非権利試合
10	小学4年男子重量の部	(32kg以上) 権利試合	38	(挑戦)小学3年男子の部	非権利試合
11	小学4年女子の部	権利試合	39	(挑戦)小学3年女子の部	非権利試合
12	小学5年男子軽量の部	(35kg未満) 権利試合	40	(挑戦)小学4年男子の部	非権利試合
13	小学5年男子重量の部	(35kg以上) 権利試合	41	(挑戦)小学4年女子の部	非権利試合
14	小学5年女子の部	権利試合	42	(挑戦)小学5年男子の部	非権利試合
15	小学6年男子軽量の部	(45kg未満) 権利試合	43	(挑戦)小学5年女子の部	非権利試合
16	小学6年男子重量の部	(45kg以上) 権利試合	44	(挑戦)小学6年男子の部	非権利試合
17	小学6年女子の部	権利試合	45	(挑戦)小学6年女子の部	非権利試合
18	中学1年男子軽量の部	(50kg未満) 権利試合	46	(挑戦)中学男子の部	非権利試合
19	中学1年男子重量の部	(50kg以上) 権利試合	47	(挑戦)中学女子の部	非権利試合
20	中学1年女子の部	権利試合	48	一般女子初・中級の部	(白～黄帯)
21	中学2年男子軽量の部	(55kg未満) 権利試合	49	一般男子初・中級の部	(白～黄帯)
22	中学2年男子重量の部	(55kg以上) 権利試合	50	一般男子壮年の部A	(40歳～50歳未満)※帯色不問
23	中学2年女子の部	権利試合	51	一般男子壮年の部B	(50歳以上)※帯色不問
24	中学3年男子軽量の部	(55kg未満) 権利試合	52	一般女子壮年の部A	(35歳～45歳未満)※帯色不問
25	中学3年男子重量の部	(55kg以上) 権利試合	53	一般女子壮年の部B	(45歳以上)※帯色不問
26	中学3年女子の部	権利試合	54	一般女子上級軽量の部	(55kg未満) 高校2年生以上
27	高校1年男子軽量の部	(60kg未満) 権利試合	55	一般女子上級重量の部	(55kg以上) 高校2年生以上
28	高校1年男子重量の部	(60kg以上) 権利試合	56	一般男子上級軽量の部	(70kg未満) 高校2年生以上
29	高校女子軽量の部	(53kg未満) 権利試合	57	一般男子上級重量の部	(70kg以上) 高校2年生以上

＜実施 型クラス＞ 全日本「型」権利試合

1	幼年(未就学児)	10	小学6年男子	18	SONEN 男子 A 35～39歳	26	SONEN 女子 A 35～39歳
2	小学1年混合	11	小学6年女子	19	SONEN 男子 B 40～44歳	27	SONEN 女子 B 40～44歳
3	小学2年混合	12	中学生男子	20	SONEN 男子 C 45～49歳	28	SONEN 女子 C 45～49歳
4	小学3年男子	13	中学生女子	21	SONEN 男子 D 50～54歳	29	SONEN 女子 D 50～54歳
5	小学3年女子	14	高校生男子	22	SONEN 男子 E 55～59歳	30	SONEN 女子 E 55～59歳
6	小学4年男子	15	高校生女子	23	SONEN 男子 F 60～64歳	31	SONEN 女子 F 60～64歳
7	小学4年女子	16	一般男子	24	SONEN 男子 G 65～69歳	32	SONEN 女子 G 65～69歳
8	小学5年男子	17	一般女子	25	SONEN 男子 H 70歳以上	33	SONEN 女子 H 70歳以上
9	小学5年女子						

<実施 ハートポイント組手クラス>

1	幼年の部	(男女混合)	9	小学4年女子の部	
2	小学1年男子の部		10	小学5年男子の部	
3	小学1年女子の部		11	小学5年女子の部	
4	小学2年男子の部		12	小学6年男子の部	
5	小学2年女子の部		13	小学6年女子の部	
6	小学3年男子の部		14	中学男子の部	
7	小学3年女子の部		15	中学女子の部	
8	小学4年男子の部				

【新ルール「ハートポイント制」について】

胸部（心臓部）を有効打突の対象とし、ポイントとする「ハートポイント制」を導入します。
有効打突には、手技による正拳の直突き・下突き・かぎ突き等（肘・手刀は不可）を使用します。

1. 胸部（心臓部）の有効打突でポイントを獲得

- ・胸部（心臓部）への打撃を有効ポイントとすることで、攻撃を「避ける」「受ける」動作が増え、安全性を向上。
- ・有効ポイントが決まれば試合が一時停止し、連打を防止。間合いを重視した攻防が生まれる。
- ・胸部を顔面のように扱うことで、より実戦的でダイナミックな動きが期待できる。

2. 安全性を確保

- ・心臓や乳腺を保護するパッドを装着し、安全性を高める。
- ・審判の判定を明確にするため、電子防具（シグナルプロテクター）の導入。
- ・シグナルプロテクターは、有効打突が当たるとランプが点灯してポイントを知らせます。
- ・シグナルプロテクターは、抵抗（学年別）を感知し軽い突きでは点灯しません。

3. 公平なルール

- ・体格差による有利不利の軽減に繋がり、誰もが平等に競技できる環境を実現。
- ・接近戦を減らし、試合の決着時間を短縮。

※ 今回は、ルール A を採用【ルール A の詳細】

- ◆胸部（心臓部）への打突は「2ポイント＝技有り」。1ポイントのみは、判定に無効
- ◆2ポイント取得で「技有り」、4ポイントで「一本勝ち」とする。
- ◆ポイントの判定は、電子防具（シグナルプロテクター）での点灯を使用します。

◇ルール「ハートポイント制」の導入は、空手の安全性を高め、競技の魅力をさらに引き出す大きな一歩です。

◇このルール採用により、特に子供や女性、壮年者が安心して参加できる環境を整え、競技人口の増加や国際的な競争力の向上が期待できます。

◇さらに、空手界初の電子防具（シグナルプロテクター）の採用により、判定の透明性が高まり、観客にも納得してもらえる試合運営が可能になります。

◇決して、現状のルールを否定するものではなく、私たち（一社）極真会館は、この新ルールを通じて、空手界に新しい時代を築いてく所存です。ご理解の程、よろしくお願いいたします。